

あ と が き

北海道立衛生研究所報第74集をここにご報告致します。

私たちの生活はほぼ新型コロナウイルス感染症の流行前の状況に戻って参りました。この感染症の流行は人類の健康危機について改めて考える機会を与え、それと対峙するために科学・技術も大きく発展しました。健康危機は私たちの生活や環境の中に多く見られます。当研究所は、感染症対策をはじめ、食品・飲料水・医薬品の安全性評価、生活環境に関連する諸問題など幅広い分野で対応し、道民の保健及び衛生の向上を目的に、日々、研究・業務に取り組んでおります。

本所報は、令和5年度の研究活動を中心に、19報の研究成果をご報告しました。飲料水、花粉、アレルギー物質、放射能、自然毒、水銀、感染症流行予測など、地域における科学的かつ技術的中核であることが求められる当所の研究活動の成果をまとめたものです。皆さまのお役に立てますと幸いです。また、皆さまからの忌憚のないご意見とご助言をいただき、職員一同、より一層切磋琢磨して参りたいと存じます。

最後に、本所報の発行に際し、ご協力いただいた関係者の皆さま、所員各位、査読・校正にご尽力いただいた職員の皆さま、事務局の皆さまに深く感謝を申し上げますとともに、日々真摯に研究・業務に取り組む研究職員の皆さまに敬意を表します。

(藤谷記)

所 報 編 集 委 員

委員長	藤 谷 好 弘				
委 員	藤 本 啓	西 村 一 彦	森 本 洋		
	山 野 公 明	上 野 健 一			
校正委員	佐 藤 正 幸	藤 井 良 昭	三津橋 和 也		
	市 橋 大 山				
事 務 局	鈴 木 智 宏	柳 瀬 忍			